



特定非営利活動法人 障害者地域生活支援センターぴあ

代表者名：理事長 高橋 等
業種：社会福祉施設
所在地：三沢市
労働者数：42名（男性9名、女性33名）

1 企業概要

2004年に設立し、居宅介護、就労継続支援B型などの障害福祉サービスを提供しています。地域の皆様からは「ぴあ三沢」と親しみのある愛称で呼ばれています。

2 計画に掲げた目標・達成状況（計画期間 平成29年7月1日～令和2年3月31日）

- ①計画期間内に、育児休業の取得を次の水準以上にする
男性職員：計画期間中に1人以上取得⇒男性1名が育児休業を取得
女性職員：取得率を80%以上⇒取得率150%（計画期間内に出産4名、育児休業取得6名）
 - ②育児・介護休暇の取得がゼロのため、取得しやすい内容に制度を改める
 - ③所定外労働の免除を請求できる職員の幅を広げ、職員の働き方の選択肢を広げる
- 就業規則の見直し

3 主な取組内容・取組効果

主な取組内容

- 育児休業に関するリーフレットを作成・配布して全職員に情報提供し、職員の理解促進。
- 育児休業取得希望者を対象とした個別相談会の実施。
- 看護・介護休暇の時間単位取得（有給）、小学校就学の始期に達するまでの子を養育する場合は所定外労働の免除を請求できるよう就業規則の見直しを実施。

育児休業を取得した男性職員の声

出産に立ち会い、自宅で妻をサポートできたことで、家庭生活と仕事の両立の大切さを改めて実感でき、制度を利用できてよかったです。育児休業を後押ししてくれた先輩方、同僚の協力のおかげです。

男性の育児休業取得の効果

お互いに権利意識ではなく責任の意識と他人事ではない共通認識を持ったうえで「お互いさま」と声を掛け合える職場環境を整えることができました。

4 子育てサポートに力を入れたきっかけ

「子育て世代の親として応援したい!」という法人代表の思いから始まりました。

取組当初、長期育児休業後の仕事と家庭生活の両立に不安を感じるという声があり、復帰後の働き方をイメージできるよう、一人ひとりの状況をヒアリングしたうえで各種制度を紹介する相談体制を作り、休業前後のフォロー体制を整備しました。

今後も、職員の様々なライフイベントに合わせた多様で柔軟な働き方について検討し、提案したいと考えています。全職員がぴあ三沢で働けて良かったと思える、働きやすく、働き甲斐を感じる職場作りに取り組んでいきます!

5 法人代表の思い

障害福祉事業等福祉の現場では、人材不足の問題から長期休暇が取りにくいイメージが強いと思いますが、令和2年は男性育休元年になるともいわれています。

青森県においても、お母さんの笑顔とお父さんの笑顔でさらにご家族に明るい笑顔が増える!そんな家庭がより多くなることを願っています!